

令和6年度和歌山メディカルネットワーク
地域医療連携推進評議会

令和6年度の取組と今後の取組内容について

令和7(2025)年6月12日

目 次

1 令和6年度の主な取組

(1)法人の健全かつ効率的な運営

2 今後の取組方向

(1)令和7年度における新たな取組

(2)中期的な取組方向

1 令和6年度の主な取組

令和6年12月に法人登記し、翌年3月に地域医療連携推進法人の認可を得たばかりである。令和7年度より本格運営をスタートする。

今後、医療連携推進計画の着実な推進を図るため、進捗状況の確認・評価。

評価に当たっては、6カ月単位を設定し、評価する。評価時点で達成可否や時間的問題がある場合は、代替案等への検討も図る。

(1)法人の健全かつ効率的な運営

管理者・病院長会議の開催

諸課題への適切な対応を図るとともに、社員管理者の情報交換・意見交換の場として開催。令和7年度の開催テーマは、以下を予定

1 電子カルテ共有化について

2 共同購入及び利用のあり方について

3 WEB会議の実施

2 今後の取組方向

(1) 令和7年度における新たな取組

1 地域医療フォーラムの開催

和歌山県医師会（和歌山市医師会）、製薬会社等との共催により、地域住民や参加社員の職員やその他関係者を対象に地域医療フォーラムを開催。テーマによっては、市内の薬局や介護関係者も参加。

主なテーマ（種類）

- ・ 認知症と心房細動の関連、認知症の医療連携
- ・ 糖尿病重症化予防、積極的な脂質低下療法
- ・ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制

- ・ 高齢不眠症患者に対する新たな治療
- ・ 転倒・骨折の予防

(2) 中期的な取組方向

1 医療機器の共同利用、医療材料等の共同購入

共同交渉・共同購入等において、使用期限の到来によるロスの削減を図るため、使用頻度の少ない医療材料や医薬品の「バラ買い」、共同購入等のあり方について検討を開始。

2 医療・介護人材の確保・育成

参加社員間において、的確かつ効率的に運用できるよう、在籍型出向制度の意義や効果、具体的な手順、出向契約書の例等を整理し、マニュアルを作成。

3 認知症対応(サポート医の支援)

認知症初期集中支援チームのチーム員たる医師の条件を支援

4 B C P 策定支援事業の検討

大規模災害の発生や新興感染症の感染拡大など、非常時においても、医療・介護サービスを

安定的・継続的に提供できるよう、参加医療機関間の連携のあり方について検討。